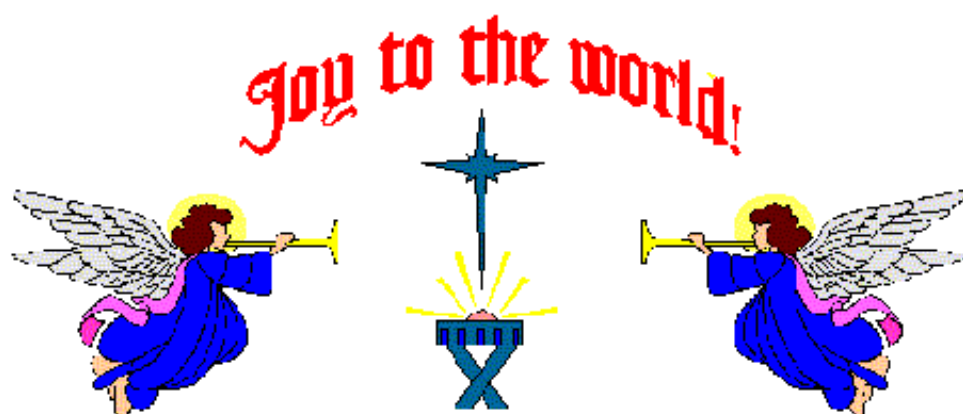


# 江刺保育園

# 聖誕劇

## Christmas Pageant



2022年





# Christmas Pageant



## 聖誕劇



### 登場人物

マリア	おいかわ あやめ	ひつじかい1	さとう あお
ヨセフ	たかはし いちか	ひつじかい2	きくち とおや
		ひつじかい3	ふじしろ こうた
てんし1	おいかわ あさひ	ひつじかい4	あべ しょうま
てんし2	きくち いちか	ひつじかい5	さとう おと
てんし3	ねもと にこ		
てんし4	すがわら こなた	やどや1	あべ しょうま
てんし5	たかはし はな	やどや2	さとう あお
てんし6	こうの さあ		
はかせ1	すずき さや	かたりて1	おいかわ あゆ
はかせ2	ひらお あやと	かたりて2	おいかわ あやか
はかせ3	ささき らいり	かたりて3	さとう ふみ





第1場面 BGM

かたりて1	はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。 言葉の内に命があった。命は人間を照らす光であった。	
かたりて2	わたしたち「すみれ組」が演じるこの物語は、聖書に書かれている、イエス様のお誕生の出来事を劇にしました。今から2000年前、イスラエルのナザレという村にマリアさんという女の子の人がいました。	
かたりて3	マリアさんは、ヨセフさんと結婚の約束をしていました。 ある時とつぜん、マリアさんの前に、おおぜいの天使が現れたのです。	
てんし1	マリアよ、おめでとう。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし2	あなたに、かみさまの、おことばをつたえます。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし3	あなたは、もうすぐおとこのこをうむでしょう。	星を掲げ1歩前に出る。
くびを横に振り、戸惑いながら		
マリア	そのようなことはゆるされないことです。わたしにはけっこんをやくそくした、たいせつなひとがいるのです。	
てんし4	うまれてくるあかちゃんは、かみさまのこどもです。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし5	ヨセフはすべてをうけいれています。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし6	なにもしんぱいすることはありません。	星を掲げ1歩前に出る。
マリア	いったい、わたしはなにをすればいいのでしょうか。 ヨセフはわたしをゆるしてくれるのでしょうか。	
てんし1	すべてをかみさまにまかせなさい。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし2	うまれるこどものなまえをイエスとなづけなさい。	星を掲げ1歩前に出る。
すこし、考えて(間を置く) 立ち上がり、会衆に向かってゆっくり礼をして話す。		
マリア	はい、わかりました。 かみさまにすべてをおまかせします。 かみさまの、おかんがえのとおりにしてください。	ゆっくりと話す。

BGM

天使・・・一回りして退場

幕



第2場面

かたりて3	<p>そのころ、ユダヤの国では、じぶんの生まれた所に行き、名前を登録しなさいという王様の命令がありました。この国の人たちは、自分が生まれたところに行かなければなりませんでした。</p>
かたりて2	<p>そのために、マリヤさんとヨセフさんも旅をしていました。そして、ベツレヘムのナザレという町に着きました。あたりはすっかりくらくらになり、宿屋はどこも旅人でいっぱいでした。</p>
かたりて1	<p>マリヤさんは天使のお告げのとおり、もうすぐ赤ちゃんが生まれそうになっていたのです。</p>
マリア	まあ、たくさんのひとたちですね。
ヨセフ	とおくの、まちやむらからきたんだね。
マリア	こんや、とまるどころがあるでしょうか。
ヨセフ	しんぱいしないで。

手をつなぎ、幕の外にでる。宿を探す。

ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや1	はい、どなたですか。
ヨセフ	こんやひとばん、とめてください。
やどや1	たびびとでいっぱいです。べつのやどやにきいてください。
ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや2	はい、どなたですか。
ヨセフ	もうすぐこどもがうまれそうなのです。こんやひとばん、どこでもいいですからとめてください。
やどや2	それはたいへんそうですね。うまごやでもいいですか。
ヨセフ	たすかります。ありがとうございます。
やどや2	どうぞあがってください。こっちです、ついてきてください。

幕

全員で歌う

賛美歌 「おとまりください」

- おとまりください ヨセフさん  
おやすみください マリアさん  
きれいなおへやじゃないけれど  
かみさまがまもっておられます
- せかいのみんなが まっていた  
おさなごイエスさま うまれます  
ほしのひかったふゆのよる  
ユダヤのちいさなうまごやで



かたりて1	<small>まちはず やま そうげん ひつじか よる ね</small> そのころ、ベツレヘムの町外れにある山の草原では、羊飼いたちが、夜も寝 <small>ひつじ ばん</small> ないで羊の番をしていました。	
羊飼い全員たき火をかこみ座っている。		
ひつじかい1	しずかな、よるだなあ。	
ひつじかい2	くらい、さむい、よるだなあ。	
ひつじかい3	こんなよるに、はたらいているのはおれたちだけだ。	
ひつじかい4	こんやは、なにかがおこりそうだなあ。	
羊飼い5立ち上がり、指差して言う		
ひつじかい5	なにかひかるものがだんだんこっちにおかってくる。さあ、みんなにげよう。	
羊飼い全員立ち上がる。横1列に並ぶ		
天使登場 セリフを言う天使は手を上げ1歩前が出る。セリフを言ったら元の位置に戻る。		
てんし1	ひつじかいたち、こわがることはありません。	星を掲げ1歩前が出る。
てんし2	ダビデのまちベツレヘムに、ひとりのおとこのこがおうまれになりました。	星を掲げ1歩前が出る。
ひつじかい1	ダビデのまちベツレヘムに	1歩前が出る
天使全員、羊飼いを指さして		
てんし(みんな)	あなたがたのために	揃えて
ひつじかい2	だれがうまれたのですか。	1歩前が出る
てんし3	すくいぬしがうまれたのです。	星を掲げ1歩前が出る
ひつじかい3	すくいぬしがうまれたのですね。	1歩前が出る
てんし4	あのおおきくかがやくほしをめざしてゆきなさい。	星を掲げ1歩前が出る
ひつじかい4	そこに、キリストがいるのですね。	1歩前が出る
てんし5	そのこは、うまごやのなかでねむっています。	星を掲げ1歩前が出る
ひつじかい5	どうして、そんなところでうまれたのですか。	1歩前が出る
てんし6	ひとびとが、かみさまのころをしるために。	星を掲げ1歩前が出る
てんし1	ひとびとが、あいしあっているために。	星を掲げ1歩前が出る
てんし2	ひとびとの、きぼうになるために	星を掲げ1歩前が出る
てんし3	せかいからせんそうをなくすために。	星を掲げ1歩前が出る
てんし4	せかいがへいわになるために	星を掲げ1歩前が出る
てんし5	せかいじゅうのひとがしあわせになるために	
てんし6	すくいぬしは、このよにうまれたのです。	
てんし(みんな)	さあ、みんなでおいわいにいきましょう。	星を掲げ1歩前が出る
ひつじかい1	おれたちも、みんなで、おいわいにいこう。	1歩前が出る
ひつじかい(みんな)	さあ、いこう。	その場で



全員で歌う。天使、羊飼いはステージ上で歌う。



賛美歌 「そらには、てんしの…」

1. そらにはてんしの うたごえひびく  
すくいのみかみは ダビデのむらに
2. てんしのさんびは きよらにひびく  
みかみにみさかえ ひとにはへいわ

歌い終わったら天使は一回りして退場。その後、羊飼いは一回りせず退場

幕

第4場面

かたりて3	ひがし くに はかせ さんにん よる そら み はな あ 東の国の博士たち三人が集まり夜の空を見ながら話し合っていました。	
博士1は机の前に立って空を見ている。 博士2、博士3は奥にある椅子に座っている。		
はかせ1	せんせいがた、ちょっとここへきてごらんなさい。 ふしぎなものがみえますよ。	
博士たちが集まる。		
はかせ2	なんですか、いったい。	
はかせ3	どうしたのですか。	
はかせ1	ええ、ほら、あそこをごらんなさい。	星を指さす
はかせ2	かがやいているおおきなほしがみえます。	
はかせ3	なにかのしらせでしょうか。	
はかせ1	わたしは、あんなにひかっているおおきなほしをみたことがありません。	
はかせ2	とつぜん、あらわれたのですね。 それでは聖書をしらべてみましょう。	
博士全員、聖書をめくって調べる。		
はかせ3	ここだ、ここだとおもいます。	
はかせ1	よ 読んでみましょう。「すくいぬしが、おおきなひかりのもとに うまれる」とかいてあります。	
はかせ2	あのほしが、わたしたちをすくいぬしのところへみちびいて いるのです。	
はかせ3	あのほしをめざして、すくいぬしにあいにゆきましょう	
はかせ1	わたしはおくりものに「にゆうこう」をもちます。	
はかせ2	わたしは「おうごん」をもちます	
はかせ3	わたしは「もつやく」をもってゆきます。	
(みんな)	さあ、すくいぬしにあいにいきましょう。	全員指さす

全員で歌う。3人の博士はステージ上でうたう。

1 番を歌い、2 番に入ったら、うたいながらテーブルのまわりをひとまわりして、退場。

賛美歌 「おほしがひかる」

1. おほしがひかる ぴかぴか ふしぎにあかく ぴかぴか  
なにがなにがあるのか おほしがひかる ぴかぴか
2. らくだがとおる かぼかぼ さばくのはらを かぼかぼ  
どこへどこへいくのか らくだがとおる かぼかぼ
3. おほしがひかる ぴかぴか らくだがとおる かぼかぼ  
そうだそうだこよいは めでたいきよい よるだよ



幕

バックの絵を替える。

第5 場面

かたりて2	ここは、ベツレヘムの <sup>うまごや</sup> 馬小屋です。 うまれたばかりのイエス様が <sup>かいばおけ</sup> 飼葉桶のなかで <sup>ねむ</sup> 眠っています。	
ヨセフ	マリア、なんてかわいいあかちゃんだろう。	
マリア	ええ、ほんとうに	
ヨセフ	でも、どうしてこんなところで、うまれたんだろう。 なんという、みじめなゆりかごだろう。	
マリア	ほんとうに。でも、ごらんなさい。このこは、とてもやさしい、おだやかなかおをしていますよ。	抱き上げゆっくりとおおきな声で
ヨセフ	なまえはてんしがいったように、イエスとなづけよう。	
マリア	イエス、あなたはこれからどんなにけわしいみちをすすむのでしょうか。かみさま、このこが、ひとびとのこころに、しんこうと、きぼうと、あいをあたえることができますように。こころからおいのりします。	ゆっくりとおおきな声で
<p>「もろびとこぞりて」のオーケストラの音楽が始まる。 天使、羊飼い、三人の博士の順番にペンライトを持ってステージへ 天使はとんでいるように。羊飼い、三人のはかせはゆっくり歩いて登場。羊飼い、三人のはかせはイエス様の前でお祈りしてから並ぶ（いそがない。片ひぎをついて頭を下げる。）</p>		





かたりて1	こうして <sup>おお</sup> 大きな <sup>ほし</sup> 星に <sup>みちび</sup> 導かれて、 <sup>ひつじか</sup> 羊飼いたちと、 <sup>とお</sup> 遠い <sup>ひがし</sup> 東の <sup>くに</sup> 国からやってきた <sup>はかせ</sup> 博士たちは、 <sup>うまご</sup> ベツレヘムの <sup>や</sup> 馬小屋でおさない <sup>イエス</sup> イエスさまにあうことができました。
かたりて2	三人の <sup>はかせ</sup> 博士たちがそれぞれ <sup>も</sup> 持ってきたものは、 <sup>おうごん</sup> 黄金、 <sup>にゅうこう</sup> 乳香、そして <sup>し</sup> 死んだ <sup>ひと</sup> 人の <sup>からだ</sup> 体につける <sup>くすり</sup> 薬、 <sup>もつやく</sup> 没薬でした。この日 <sup>ひ</sup> が <sup>さま</sup> イエス様の <sup>たんじょうび</sup> 誕生日クリスマスなのです。
かたりて3	この <sup>さま</sup> イエス様が、 <sup>わたし</sup> 私たちに <sup>かみさま</sup> 神様を <sup>しん</sup> 信じ、そして <sup>あい</sup> 愛し <sup>あ</sup> 合 <sup>い</sup> って生きることを、おしえて <sup>さま</sup> くださったのです。イエス様は、いつでも <sup>わたし</sup> 私たちと <sup>いっしょ</sup> 一緒にいるのです。

語り手、ペンライトを持ってステージにあがる。

全員がステージにあがってから

てんし(みんな)	かみさまのしゆくふくで、せかいじゅうがみたされるように。
はかせ(みんな)	せかいじゅうのひとびとが、しあわせになるように。
ひつじかい(みんな)	せんそうのない、へいわなせかいになりますように。
マリアとヨセフ	わたしたちが、ひとにあいされ、ひとをあいするところをもっていきることが出来ますように。
かたりて1,2,3 いっしょに	さあ、みなさん、 <b>こころをこめて</b> クリスマスの <b>さんびか</b> 「 <b>きよしこのよる</b> 」をうたいましょう。

### 賛美歌 「きよしこのよる」

- きよしこのよる ほしはひかり  
すくいのみこは まぶねのなかに  
ねむりたもう いとやすく
- きよしこのよる みこのえみに  
めぐみのみよの あしたのひかり  
かがやけり ほがらかに

2番はハミング

### 退場

(語り手→天使→博士→羊飼い→マリアとヨセフ)

間隔をあける。









社会福祉法人 江刺保育園  
2022年度版 聖誕劇シナリオ

